

# 小学生の進路・進学

## 分 かる と 快 感 !

# Z会ナビ

算数

理科

▶ 歴史

地理

## お題

# 時代が変わればお金のあり方も変わる？

(東京大学 2004年 日本史)

次の3種類の錢貨は、鎌倉時代以降の日本で使われたもので、左から発行時期の古い順に並んでいます。



これを見て、①②が使われていた時代から③が発行されるまでに、日本の国家権力にどのような変化があり、それが貨幣のあり方にどのような影響を与えたか、説明しなさい。

みなさんがもっともなじみがあるのは③の「寛永通宝」でしょうか。江戸時代に幕府によって造られた錢貨で、ドラマなどで錢形平次が敵に向かって投げているのがこれです。これに対し、①の「皇宋通宝」は宋の、②の「永樂通宝」は明の貨幣です。宋は平安時代～鎌倉時代ごろに、明は室町時代～江戸時代初めごろに、中国大陸にあった国です。つまり、①と②は、鎌倉時代や室町時代に中国から輸入された錢貨なのです。

寛永通宝のように、日本で造られた貨幣が日本で使われるというのはわかりやすいですが、鎌倉時代や室町時代には、なぜわざわざ輸入したお金が使われていたのでしょうか。

## お金を造って使わせるのは大変だった

実は、鎌倉時代より前の奈良時代や平安時代には、日本でも貨幣が造られていました。しかし当時は物々交換が主流で、貨幣を使った物の



# お金の歴史

やりとりが一般的でなかったことなどから、貨幣は使われず、造られなくなっていました。

鎌倉時代以降、船などの交通網が発達し、日本国内の遠く離れた場所との交易が活発になりました。離れた場所同士での物のやりとりには貨幣がとても便利だったことから、貨幣の利用も次第に広まってきました。しかし貨幣を造るためには、「この錢貨1枚をこれこれと同じ価値とする」という基準を日本全国に行き渡らせられる強い権力が必要です。鎌倉時代や室町時代にはまた天皇や朝廷が強い力を持ち、幕府

イラスト・瑞木 匠

の権力はそれほど強くなかったため、独自の貨幣を造れず、中国で使われている貨幣をそのまま使うことにしたのです。また、当時の精錬技術が未熟で、貨幣の材料である金属を入手しにくかったことも、独自の貨幣を造りにくくした背景にありました。

## 全国統一政権による全国統一貨幣

幕府が貨幣を統一しなかったため、次第に、中国の貨幣だけでなく、個人が無許可で造ったものなど、さまざまな貨幣が使われるようになりました。中には欠けたり割れたりしているようなものもあり、貨幣の質が悪い場合は品物を渡さないなどの行為が行われました。これでは、スムーズな物のやりとりはできません。

このような流通の混乱は経済発展の邪魔であると考えた江戸幕府は、全国統一の貨幣である寛永通宝を造りました。朝廷が弱体化していった戦国時代を勝ち抜き、全国を統一した江戸幕府は、精錬技術の向上や鉱山の開発などのあと押しも受けて、ようやく自力で貨幣を造ることができたのです。【Z会・河原井彩】

今回の教訓  
全国共通の貨幣を造るには、全国に通用する強い権力が必要でした。



河原井彩さん、2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を担当。趣味は乗り物に乗ること。将来は猫と2人暮らし(希望)。新潟県生まれの埼玉県育ち。